

平成27年度 第1回 平塚市バリアフリー推進協議会 議事録

日時：平成27年4月28日（火）14時～15時10分

場所：平塚市役所 本館7階 710会議室

議題

- (1) 平成26年度事業実績及び予定について【資料1】
- (2) 生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）について【資料2】
- (3) その他

出席者

所 属	氏 名	
国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局	永島 和弘	
国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所 交通対策課	山田 利一	
平塚警察署 交通第一課	吉富 孝弘	
神奈川県平塚土木事務所 道路維持課	池田 六大	
平塚市老人クラブ連合会	月本 孝光	
平塚市障がい者団体連合会	前田 美智子	
平塚市民生委員児童委員協議会	赤坂 寅幸	
平塚市自治会連絡協議会	八田 厚生	
平塚市社会福祉協議会	小林 立欣	
平塚市商店街連合会	常盤 卓嗣	欠席
平塚商工会議所	栗野 裕	
神奈川県立 平塚盲学校	鈴木 剛	
平塚市バリアフリー基本構想 策定時の公募委員	遠藤 和子	
	山上 徳行	欠席

東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社	磯嶋 雅彦	(代理)榎本 聡
神奈川中央交通株式会社	永山 輝彦	
株式会社湘南神奈交バス 平塚営業所	鈴木 伸	(代理)神戸 哲也
一般社団法人神奈川県タクシー協会 相模支部平塚地区会	河原 貴治	
平塚市 交通政策担当部長	深沢 哲也	
平塚市 道路管理課	磯村 正之	
平塚市 道路整備課	武井 敬	
平塚市 みどり公園・水辺課	石川 真人	
平塚市 総合公園課	石川 清人	

【事務局】

所 属		氏 名
平塚市	交通政策課長	小林 岳
	交通政策課 主管	中嶋 孝之
	交通政策課 主査	鈴木 岳央

(1) 平成26年度事業実績及び予定について【資料1】

【資料1】を用いて、実績及び予定について、各事業者及び事務局から説明を行った。その後、質問や意見交換。

【構成員】

道路特定事業の県道608号(平塚停車場袖ヶ浜)において、湘南海岸公園入口付近で平成27年度に視覚障害者誘導用ブロック設置40mが予定されているが、当課で公園再整備の実施設計の予定となっている。入口の位置変更の可能性もあるため設計の際には、協議願いたい。

【構成員】

個別に調整していく。

【構成員】

横断歩道が青になった時点で、信号無視をしてきた車が目の前を横切ることがある

が、警察で取り締まることは可能なのか。

【構成員】

取り締まりを含めて、様々な安全運動期間中などに街頭で指導を行っている。そうしたことで歩行者の安全を守るとともに、悪質な違反者については検挙している。

【構成員】

福祉会館が近いこともあり、横浜ゴム前の横断歩道をよく利用するが、先程のようなことは頻繁に遭遇する。

【構成員】

地道な啓発活動により、意識の浸透を図っていきたい。

【構成員】

毎年の信号機設置箇所数は決まっているのか。

【構成員】

決まっているものではない。必要性・地域の合意・交通量などをその都度勘案し、設置している。

【構成員】

障がい者団体などで、信号機の設置を要望することがあるが、視覚障害者用を要望しないと音響式信号機は設置されない。費用的な部分もあると思うが、新設の際には音響式を通常設置してもらえないか。

【構成員】

必要性なども検討しながら、上申などを行っていきたい。

【構成員】

設置要望に伺うと、「利用者はどれくらいいますか」と問われるが、健常者に比べて障がい者の数は少なく、利用する人数も限られる。どれくらいの利用があると多いと言えるのか、今後検討いただけるとありがたい。

【構成員】

鉄道において、一人の時にスムーズな乗り継ぎをしていただき助かる。切符購入の際に金種ごとにお釣りを渡していただくことも非常に助かっている。今後も継続していただけるとありがたい。

バスの「行き先案内」について、駅での乗車の際にはまだ良いが、途中のバス停で乗車する時が非常に困っている。前回も同じことをお願いしているが、何とか事業計画にそのことを入れてもらえないか。そうしないと忘れられてしまう。

運転手による行き先案内について、教育しているとは伺っているが、機械による案内にすることにより、運転手の労力も省くことができる。ノンステップバスと一緒に事業計画に入れてもらいたい。視覚障害の方だけでなく、知的障害の方、高齢の方にも機械のはっきりとした音声で伝えることで乗り間違えることが無くなる。

【構成員】

前回にも話をいただき、課題として認識している。いつ頃取り組めるかはっきりと申し上げることはできないが、慎重に検討していきたい。

【座長】

各事業者とも事業計画に記載が無いことは行わない訳では無いし、記載の無いことも行われているので、引き続きよろしくお願ひしたい。

また、先程の事業報告の説明の際に、資料1の3ページ「道路特定事業」の経路番号10宝町通り線については、取組状況欄の黒丸を完了の位置に修正した上でホームページへの公開を事務局にお願ひする。

(2)生活交通改善事業計画(バリアフリー化設備等整備事業)について【資料2】

【資料2】を用いて、ノンステップバス導入に伴う国の補助金申請の際に必要な標記計画について事務局から説明を行った。その後、質問や意見交換。

【構成員】

資料2の2ページ5において、26年度(当該年度)とあるが27年度でよいか。また、その下の事業の名称欄は空欄でよいか。

【事務局】

当該年度の箇所は、27年度と修正願ひたい。また、事業の名称欄には「ノンステップバス導入促進事業」と修正願ひたい。

【構成員】

資料2の1ページ3(2)において、文章の中で「自家用車からバスへの転換」という言葉が2回使われているが。

【事務局】

表現の修正については、事務局に一任いただきたい。

【座長】

事業の効果の内容の趣旨は理解したことを前提に、修正内容は事務局に一任いただきたい、修正した結果はホームページでお知らせするという事によろしいか。

【異議なし】

【座長】

修正はあるが、資料2の生活交通改善事業計画について承認された。

(3) その他

【事務局】

次回協議会の候補日として、10月22日(木)午後または、10月23日(金)午後を予定している。都合が悪い場合は9月上旬までに連絡をお願いしたい。

【座長】

本協議会は、バリアフリーに関する取り組みを半年ごとに確認し、各事業の進捗状況や他の事業との調整を行いながら、線をつなぐバリアフリーを目指したいと考えている。引き続き御協力をお願いしたい。

また、各事業者においては、財政上・経営上予算の制約があるところで、多種多様なニーズがあり、関係機関の調整も難しい部分もあるが、平塚市のバリアフリーの促進に向けて、一体的に連携して進めていきたいのでよろしくをお願いしたい。

以上